

深田久弥著『日本百名山』は選定時に山の品格、歴史、個性を重視したようです。半世紀を経てなお異論がある様ですがそれぞれの百名山があって良いのでしょう。私の百名山は1964年の谷川岳から始まり昨年トムラウシ山で完登、50年が経過していました。まずは北から印象深い山をほんの一部ですがご紹介しましょう。

知床の羅臼岳は 世界自然遺産エリア内で動植物の保護が徹底され、登山口ではヒグマ対策のスプレーが置かれておりエゾシカやキタキツネも現れます。雪渓を通過し羅臼平から這い松帯を登ると岩の山頂です。オホーツク海と太平洋が同時に望め国後島の山々も以外に近いです。幌尻岳は入山に 25 回の渡渉で 1 日懸ります。途中カメラを沢に落とし修理代8万円を要した苦い思い出の山ですが、山頂周辺のお花畑は見事です。北海道は9座あり4回通いました。

青森の岩木山に登ったらぜひ白神山地に立ち寄り青池を見ましょう。樺の原生林は世界遺産にも登録されています八甲田山十和田湖もエリア内です。南下し八幡平と岩手山は同じ山系で早池峰は少し離れます。東北は15座です。

群馬県(県境含む)にも10座あり皆さんも意外と登っているのではないのでしょうか。赤城山(黒檜)は自宅から徒歩で登りました。深夜1時自宅発(太田市)みどり市経由12時間半で黒檜山頂、大洞15時着、7万2千歩、47Km、標高差約1800mでした。世界遺産に登録された富士山は一度登りましたがやはり周辺から眺めるのが一番です。

映画『点の記』で話題になった北アルプス剣岳、百名山の中で一番アルペ的な山で、険しい雪渓と岩をたどり山頂へ、富山湾まで見えます。立山を廻り室堂へ、立山駅から『称名の滝』は外せません。落差370mは日本一です。

北岳は富士山に次ぐ第2位の高峰、高山植物が多く頭にキタダケの名前が付くのは殆どが固有種です。山頂東面は岩場でクライマーに親しまれています。南下すると、間ノ岳、塩見岳、光岳の百名山を踏破できます。

紀伊半島大台ヶ原の日出ヶ岳を登るついでに熊野古道も歩きました。133mの落差をもつ日本3名瀑の1つ那智の滝も近くです。ついでに熊野大社のヤタガラスにお参りました。

四国は剣山と石鎚山の2座で奥祖谷の二重かずら橋、大歩危小歩危、金毘羅さん道後温泉を含めて観光気分です。九州は6座、鹿児島の開聞岳は薩摩富士と呼ばれ植生は亜熱帯で下部はジャングルの様相を呈しています。螺旋状の登山道をほぼ一廻りすると露岩の山頂です。下山したらぜひJR西大山駅(沖縄を除く日本最南端駅)に立ち寄り鉄道の先の開聞岳を撮りたいです。近くには特攻隊の知覧、指宿と見どころは多いです。

屋久島の宮之浦岳を登る途中にウィルソン株があり中は20人程入れる空洞となって祠も祀ってあります。単調で長い軌道を歩き、さらに奥には推定樹齢約三千年の縄文杉があります。木肌は岩の様で周辺は靈気がただよっています。

今は日本百高山が目標で残り8座、さらに甲信越百名山の残り9座、登山ついでに『日本の滝百選』も訪ねていますが、これもあと38ヶ所。健康管理に山登りはうってつけです。ぜひ皆さんも自分にあった山登りをしてみませんか。



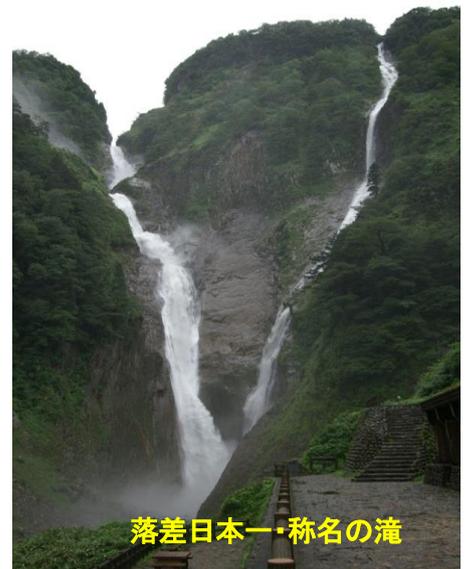
百花繚乱・北アルプス雪倉岳付近



秘境の山・奥利根大鳥帽子山



南アルプス千枚岳から夜明けの富士山



落差日本一・称名の滝